

# モビリティ社会の課題解決を



田境 毅 議員



## 仕組みづくりと産官学で連携

**幸田町のスーパーシティ構想実践は、将来像を示す事業であり、町政へ関心を持つと期待している。課題共有が必要と考え、問う。**

**問** 第6次幸田町総合計画にどの様に位置づけされるのか。

**答** 企画部長▼つながる人と地域を育てると、新しい時代の流れを力にする2つの具体的施策を推進したい。

**問** 整理された課題への取り組み方は。

**答** 様々な規制緩和や緩和による実現手法や具体策が、国・県も含めた産官学連携により生み出されていくものと考えている。

**問** 愛知県との連携は。

**答** 県または国、各庁との連携を視野に入れて進めていく。

**問** 社会インフラで特に町民の声が大きいモビリティ社会実現の課題は。

**答** 総合的なサービスが持続できる仕組みづくりが課題であり、これまでの固定観念にとらわれることなく、国・県も含めた産官学連携により構想を実現していきたい。

**問** 幸田町の取り組み計画は。

**答** 国の採択にとらわれることなく、今後も様々な可能性を探っていく。

ゼロカーボンシティ表明を

ホームページなどで行う

2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする脱炭素社会の実現には、

※ライフサイクルアセスメントの考えで、全産業、行政、住民一人ひとりが取り組まなければならぬ。以下を問う。

**問** 第6次幸田町総合計画での位置づけは。

**答** 環境経済部長▼町総合計画は、町の各種計画の上位計画として位置づけられ、環境に関する総合的な計画として環境基本計画

は位置づけられている。

**問** カーボンニュートラルに対する考え方、ゼロカーボンシティ表明の考えは。

**答** 具体的な取り組みを織り込みながら、今後、ホームページなどで行っていきたい。

**問** 幸田町の地理的特徴、産業構造を踏まえ、取り組む課題は。

**答** より効果的な啓発を進めることで、

ゼロカーボンに向け意識高揚を図るとともに、情報等速やかに伝えたい。

**問** 愛知県との連携や購入補助メニューを、近隣市町と足並みを揃える考えは。

**答** V2H設置補助などは、近隣市町も含めて足並みを揃えてやっていくべきと考えている。

**問** 幸田町の取り組み計画は。

**答** 今後は、国の地域脱炭素ロードマップに基づいて、様々な施策を展開していく。



カーボンニュートラルなど期待されるFCV車

ことば解説

【※ライフサイクルアセスメント】原料調達から廃棄・リサイクルに至る、全体を通しての環境負荷を定量的に算出する手法



いなよし てるお 稲吉 照夫 議員

# 社会実験直行タクシー中止を

## 地域公共交通会議で考えたい



社会実験を踏まえ、4種類の交通事業の来年度以降の見直しを問う。

**問** 藤田医科大学岡崎医療センター直行タクシー決算報告1082万円。利用者数は、

**答** 企画部長▼利用状況は令和2年度延べ人数484人。令和3年7月までで170人。

**問** 社会実験直行タクシーは費用対効果から判断すると、中止すべきと考えるが。

**答** 交通弱者の有効な交通手段。今後さらなる周知活動、利用しやすくなるよう地域公共交通会議で、有料化も含め考えたい。

**問** チョイソコこうたの利用など、当初の目標に達したか。

**答** 実績は会員登録者数199人のうち利用者数37人、予約件数1日あたり6・2件。利用者数以外は目標に達している。

**問** えこたんバスが藤田医科大学岡崎医療センターに乗り入れ出来ない理由は。

**答** 岡崎市内の民間交通事業者の営業に支障をきたし民業圧迫につながる。

**問** 町内の交通事業はえこたんバスと拡大福祉タクシーの2本立てを提案するが、考えは。

**答** 町長▼地域公共交通会議で相談をしてトータルに考えたい。見極める時間が欲しい。

町民の意見が反映できる議会に

議会へ早めの提案を心がける

毎年実施される事業が、町民目線になっていくか、町民の意見が反映される議会システムの構築を。

**問** 立案の段階で、議員と意見交換する機会を設けてはどうか。協議会の位置づけは。

**答** 総務部長▼定例会の前月に開催し、

議案以外で町政に関する重要事項、案件等の協議や報告を目的として、理事者側から議会にお願しい開催する。

**問** 急な事業が多いが、事業化する基準はあるか。

**答** 企画部長▼政策的に行うべき事業、急いで対応しなければ

ならない事業は、計画にない事業を実施することもある。明確な事業化の基準はない。

**問** 協議会に提案する前に、理事者と議員が議論する機会はないか。

**答** 総務部長▼協議会の本来あるべき姿、懸案事業は早めに協議会で提案し、議会の意見を可能な限り反映するサイクルを確立する。

**問** 例えば、荻地内の古民家利用の件で

ワークショップが開催されているが、具体的説明が出来ていないが、今後は。

**答** 企画部長▼誤解を招くことがないよう意見交換し、進めたい。

**問** 協議会の方法を考え直し、町民の意見が反映できる議会の構築を提案するが。

**答** 町長▼議会へ早めの提案を心がけ、スケジュールに無理のない計画的な事業構想、着手推進に努めたい。



利用が低調な えこたんバス